

令和元年亀岡市議会定例会 1 2月議会一般質問

亀岡市議会

令和元年亀岡市議会定例会12月議会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者		質問方式	
12月11日(水)	10:00～	個人	1 富谷加都子	一問一答	
	10:45～		2 石野 善司	一問一答	
	11:30～		3 木村 勲	一問一答	
			休憩		
	13:15～		4 田中 豊	一問一答	
	14:00～		5 山本由美子	一問一答	
	14:45～		6 大塚 建彦	一問一答	
12月12日(木)	10:00～	個人	7 松山 雅行	一問一答	
	10:45～		8 三上 泉	一問一答	
	11:30～		9 浅田 晴彦	一問一答	
			休憩		
	13:15～		10 竹田 幸生	一問一答	
	14:00～		11 並河 愛子	一問一答	
	14:45～		12 奥野 正三	一問一答	
			休憩		
	15:45～		13 赤坂マリア	一問一答	
16:30～	14 長澤 満	一問一答			
12月13日(金)	10:00～	個人	15 小川 克己	一問一答	
	10:45～		16 木曾 利廣	一問一答	
	11:30～		17 西口 純生	一問一答	
			休憩		
	13:15～		18 三宅 一宏	一問一答	
	14:00～		19 菱田 光紀	一問一答	
			休憩		
	15:00～		20 福井 英昭	一問一答	
15:45～	21 小松 康之	一問一答			

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

令和元年亀岡市議会定例会 12月議会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	<p>富谷加都子 12月11日(水) 10:00～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 発達障がい 児等の支援につ いて</p> <p>2 民生委員・ 児童委員につい て</p>	<p>平成28年の発達障害者支援法改正に伴い、同法第8条の教育に関する規定が改正され、行政に対し、発達障がい児の年齢及び能力に応じ、かつその特性を踏まえた教育の充実を求めている。</p> <p>(1) 児童生徒の就学先決定時に、保護者への情報提供で配慮していることは。</p> <p>(2) 就学前の児童の保護者への配慮として、医療機関での発達障がい児の診断に時間がかかることから、教育委員会の就学先認定を早めるべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 通級指導を必要とする児童生徒が増えている中、大規模校である安詳小学校では、教室不足により近隣校に通級教室を移転した。来年度は、学校規模適正化に伴い、自校での再開を望む声があるが、亀岡市の考えは。</p> <p>(4) 通常学級に在籍する発達障がいのある児童生徒への教育対応に対する要求は高まっており、児童生徒の障がいの状態も多様化している中で、全教職員に向けた研修は実施しているのか。</p> <p>(5) 教育委員会が発達障がいのある児童生徒の保護者の意見を聞く機会はあるのか。</p> <p>(6) 本市の小学校の中で、弱視や乱視等で配慮を必要とする児童は何人いるのか。</p> <p>(7) 令和2年度から小学校で使われる教科書の文字にユニバーサルデザインのフォントが登場する。障がいの有無にかかわらず、児童にとって読みやすいものであることが重要である。教科書採択の比較検討は行っているのか。</p> <p>民生委員・児童委員の一斉改選に伴い、12月2日にギャラリーかめおかで委嘱状の伝達式が厳粛に執り行われた。9月議会に引き続き、民生委員・児童委員が活動しやすい体制整備について問う。</p> <p>(1) 民生委員・児童委員の欠員が1名と聞くと、欠員のある地域に対する配慮はあるのか。</p> <p>(2) 今後、民生委員・児童委員の推薦が滞りなく進むよう行政の力を期待する。何か手立てはあるのか。</p> <p>(3) 民生委員・児童委員の負担軽減策として、新事業や既存事業の詳細等の情報を共有する機会は確保されているのか。</p> <p>(4) 今後、現場の要望があれば、府のモデル事業の仕組みではなく、現場の意向に沿った強化委員配置の考えは。</p>	<p>教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		3 防災について	<p>近年の地球温暖化の影響を受け、異常気象が多発しており、防災への備えは重要である。災害の被害を最小限に留めるため、避難行動弱者である避難行動要支援者への取組みの加速化を望む。</p> <p>(1) 避難行動要支援者名簿と個別支援計画はセットで機能するが、作成の進捗状況は。</p> <p>(2) 双方の作成に当たり、民生委員・児童委員に要請する内容は何か。</p> <p>(3) 個別支援計画の作成に当たり、行政の具体的な動きは。</p> <p>(4) 個別支援計画を担保するための避難訓練が重要である。訓練に際し、地域間に格差があるが、行政の支援はあるのか。</p> <p>(5) 地域から要請があれば、地区防災計画の作成やマイ・タイムラインの作成に対して支援できる体制はあるのか。</p>	市長 所管部長
2	石野 善司 12月11日(水) 10:45~ ※一問一答	1 市長の政治姿勢について	<p>去る10月20日を投開票日として執行された亀岡市長選挙において、桂川市長が当選を果たされ、2期目の市政運営に携わられることとなった。今回の選挙結果は、桂川市長の1期目4年間の市政運営に対する評価と、2期目4年間に對する市政運営への期待が込められたものとする。</p> <p>(1) 1期目4年間を総括した市長の所見は。</p> <p>(2) 2期目4年間の市政運営に向けた市長の思いは。</p> <p>(3) 令和2年度予算編成の基本的な考え方は。</p> <p>(4) 財政状況の今後の見通しについての所見は。</p> <p>(5) 亀岡市の今後について、市制100年のあるべき姿についての所見は。</p> <p>(6) 国道9号ダブルルート決定に向けての協議状況は。</p>	市長
		2 大河ドラマ館オープンについて	<p>新春早々オープン予定の「麒麟がくる京都大河ドラマ館」に暗雲が立ち込めてきた。大河ドラマ「麒麟がくる」に出演予定だった女優の逮捕で、代役で初回分から撮り直す事態となり、1月5日の初回放送は2週間後の同19日まで先送りになった。亀岡市は来年1月、府立京都スタジアム内に大河ドラマ館を1年間設けるが、大河ドラマ館と光秀PR事業を合わせた総事業費は3億2千万円を超える予定で、入場者目標の50万人を達成すれば7,500万円程度の赤字に収まり、70万人まで伸びれば赤字は解消される見通しとなっている。</p> <p>(1) 今後の運営見通しについての市長の所見は。</p> <p>(2) 番組宣伝だけに終わらないよう工夫をすべきと考えるが、どうか。</p>	市長 所管部長
		3 スポーツ振興について	<p>2020年の東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーを本市に誘致していただき、子ども</p>	市長 所管部長

		<p>4 熊出没について</p> <p>5 高齢者の運転免許証自主返納制度について</p> <p>6 都市計画道路馬堀停車場篠線について</p> <p>7 野良猫対策について</p>	<p>もたちや市民の皆様は夢や希望を届けると同時に、感動をもたらし、さらには、亀岡市の知名度アップ、またシティプロモーションとしての取り組みとしては大きな効果があると思う。</p> <p>(1) 取り組み効果等についての市長の所見は。</p> <p>(2) 本市独自の取り組みや、どのように盛り上げていけるのかなど検討されているのか。</p> <p>篠町山本地区と王子地域の山裾に熊が出没しているとの情報が流れた。幸い人との遭遇はなかったようであるが、ちょうど今は狩猟解禁中で、猟をされる方や唐櫃越をされるハイカーの方などが山道を歩かれる地域となっている。</p> <p>(1) いち早く安全対策を取られたのか。</p> <p>(2) 獣被害に実効性ある対策を取られているのか。</p> <p>高齢者ドライバーによる操作ミスや、高速道路逆走などの事故が相次ぐ中、地方自治体が運転免許証の返納を促したり、運転を支援する車の購入に補助金を出したりする施策を打ち出している。ただ、乗用車が地域住民に唯一の移動手段となるなど日常の暮らしには欠かせないところもあり、地方自治体には誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて、腰をすえた対応が求められている。</p> <p>(1) 本市の高齢者の運転免許証自主返納状況は。</p> <p>(2) 運転免許証の自主返納を促す施策導入の最大の目的は何か。</p> <p>(3) 自主返納者への支援策の拡大、拡充は。</p> <p>(4) 今後の課題、方向性についての所見は。</p> <p>馬堀停車場篠線の未整備区間は、第1工区の終結点府道王子並河線から国道9号の篠インターに通じるアクセス道路までの約550メートル間となっている。現在進捗中の事業計画箇所である第2工区は国道9号からマツモトうまほり店手前の420メートルの区間であり、交差点付近の拡幅も一定整備ができたように思っている。</p> <p>(1) 現在の進捗状況は。</p> <p>(2) 今後の見通しは。</p> <p>野良猫にみだりに餌をやって周辺住民に迷惑をかけている行為があり、周辺住民は話し合うにしても、地域住民間の対立を生むことをおそれ、日々悶々と暮らしている。</p> <p>(1) 実効性のある野良猫対策はあるのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
3	木村 勲 12月11日(水) 11:30~	1 市長の政治姿勢について	<p>桂川市長2期目の政策の軸に据えている「多文化共生のまち亀岡」の考え方や、これを受けて新年度予算の編成について問う。</p> <p>(1) チャレンジビジョンIの通信簿において、</p>	市長 所管部長

<p>※一問一答</p>	<p>2 観光行政について</p> <p>3 国道9号の渋滞緩和と亀岡市内の道路整備について</p> <p>4 農業用ため池対策の見直しについて</p> <p>5 公共施設の使用について</p>	<p>健康・環境・観光の挑戦は9項目、取組み状況は100%、達成状況は5項目で8つの挑戦結果評価で唯一△となっている。未達成項目についての評価は。</p> <p>(2) チャレンジビジョンⅡにおいては、「健康・環境・観光」をキーワードに多文化共生の社会の構築とあるが、どのような共生を考えているのか。また、重点項目についてどのように考えているのか。</p> <p>(3) 予算についてはどのように考えるのか。</p> <p>多文化共生のキーワードである観光行政について問う。</p> <p>(1) チャレンジビジョンⅡ③亀岡ならではの観光創出についてどう考えるか。</p> <p>(2) トロッコ亀岡駅周辺エリアの整備について進捗状況と今後の構想は。</p> <p>(3) トロッコ亀岡駅から保津川下り乗船場周辺までの観光施設としての活用について構想はあるのか。</p> <p>(4) 亀岡市特産の京野菜販売促進、農家民泊や農家レストラン、ゲストハウスなどによる地域ビジネスの取組みへの支援についてどう考えるか。</p> <p>(5) 亀岡市内の道の駅増設についてはどうか。</p> <p>日常化している国道9号の渋滞緩和について、市内を縦貫するバイパス道路の計画について問う。</p> <p>(1) 市道中矢田篠線の亀岡インターチェンジまでの延長計画と進捗状況は。</p> <p>(2) 京都縦貫自動車道大井インターチェンジ以北の側道延長についての構想は。</p> <p>(3) 都市計画道路並河亀岡停車場線第2工区の進捗状況及び今後の見通しは。</p> <p>(4) 保津川右岸道路の計画及び市道北古世西川線への接続、JR馬堀駅から国道9号への延長計画についての構想は。</p> <p>昨年7月の西日本豪雨を踏まえた農業用ため池対策の見直しで、防災重点ため池が増加した。農業従事者の高齢化が進む中で、地元負担が増加するためため池改修について問う。</p> <p>(1) 亀岡市における防災重点ため池の見直し前の箇所数と見直し後の増加箇所数は。</p> <p>(2) 今後、ため池ハザードマップ作成の予定は。</p> <p>(3) ため池改修工事内容と費用は。</p> <p>(4) ため池改修工事負担金についてどう考えるか。</p> <p>公共施設における市民優先利用について問う。</p> <p>(1) ガレリアかめおか、亀岡運動公園体育館、さくら体育館、七谷川野外活動センター、森</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
--------------	---	--	---

			<p>のステーションかめおかの市民の利用状況は。</p> <p>(2) 今後の市民利用推進に対する対策についての考えは。</p>	
4	<p>田中 豊</p> <p>12月11日(水)</p> <p>13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長選挙の結果について</p> <p>2 参政権について</p> <p>3 来年度予算編成方針について</p>	<p>10月20日投開票で行われた市長選挙結果について問う。</p> <p>(1) 今回の投票率は、前回の44.45%から8.33%減の36.12%となった。この投票率についての所見は。</p> <p>(2) 市長への投票が前回の19,847票から1,680票マイナスの18,167票となったが、所見は。</p> <p>(3) 投票率や市長の得票率に示されたのは、安倍政治で貧困と格差が広がる中、亀岡市政が市民の暮らしを守る防波堤の役割や、住民福祉の増進という地方自治体の役割を果たしていない結果の表れと考えるがどうか。</p> <p>10月16日付け京都新聞の亀岡市長選候補者の横顔という記事に、「選挙に行っても政治は変わらないという有権者に一言」という質問に、市長は「納税と選挙は国民の義務！」と回答している。</p> <p>(1) 日本国憲法第30条に納税の義務は規定されているが、「投票の義務」はどこに規定されているのか。</p> <p>(2) 「投票」は国民の権利であり、憲法を遵守すべき市長としてどう考えるのか。</p> <p>11月15日に出された令和2年度予算編成方針について問う。</p> <p>(1) 市民の暮らしの実態について触れられていないのはなぜか。</p> <p>(2) 消費税が10%に増税された中で、亀岡の地域経済への影響や、実態についても触れられていないのはなぜか。</p> <p>(3) 市民の暮らしや地域経済の実態を分析してこそ、予算を編成できるのではないか。</p> <p>(4) 重点施策の推進について問う。</p> <p>①安全で安心して暮らせるまちづくりに、「自助・共助・公助」による防災・減災対策の充実とあるが、この背景にあるのは国民生活の基本は、家族の支えを含む「自助」の努力であり、国民同士の助け合い「共助」がそれを補い、「公助」の対象は一部の一部だけという「自助・共助・公助」論ではないか。</p> <p>②健康で元気あふれるまちづくりに、「亀岡型自然保育(森の自然保育園)の推進など子育て環境・保育サービスの更なる充実」とあるが、現在の待機児童数とその解消方策は。</p> <p>③「フレイル対策の促進など高齢者が安心して暮らせるまちづくりの推進」とあるが、具体</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 農地農業用施設の災害復旧事業の負担割合について</p> <p>5 輸入小麦粉の残留農薬について</p>	<p>的方策は。</p> <p>④豊かな心と文化を育むまちづくりに、「生涯学習の機会の提供と拠点整備による生きがいつくりの推進」とあるが、拠点とはどの施設か。また、亀岡会館に代わる施設の整備計画はあるのか。</p> <p>⑤活力あるにぎわいのまちづくりに、地元商店（街）の振興について触れられていないのはなぜか。</p> <p>⑥去る11月27日付け京都新聞夕刊の、現代のことばに掲載された、広井良典京大教授の「商店街の復権」に対する所見は。</p> <p>⑦地域循環型予算にすることが大事だと考えるがどうか。</p> <p>昨年12月議会で、農地農業用施設の災害復旧事業の負担割合について質問し、京都府の補助制度をつくるように求めてほしい旨質問した。市長は、「自然災害でありますので、なるべく京都府にも協力いただくように、また要請してまいりたい」と答弁された。</p> <p>(1) 要請された結果、京都府の対応は。</p> <p>農林水産省の資料によると、日本の小麦の自給率は、2018年度で12%であり、年間530万トンほどの小麦をアメリカ・オーストラリア・カナダ・フランスから輸入している。農林水産省の2017年前期・後期のグリホサート(除草剤)の残留分析結果によると、アメリカ産では9割以上、カナダ産ではほぼすべてで検出されている。</p> <p>(1)本市の学校給食用のパンに使用する小麦の原産地はどこか。</p> <p>(2)アメリカやカナダの小麦が使われているなら、国産の小麦を使ったパンに切り替えるべきと考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
5	<p>山本由美子 12月11日(水) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 マイナンバーカードの普及促進について</p>	<p>平成28年1月より本格的にスタートしたマイナンバー制度により期待される効果として、「行政の効率化」、「国民の利便性の向上」、「公平・公正な社会の実現」の3つが挙げられているが、マイナンバーカードの普及と利活用の促進が課題となっている。</p> <p>(1)本市におけるマイナンバーカードの交付状況は。(枚数、交付率、全国比等)</p> <p>(2)現在、本市においてマイナンバーカードの利用により受けられる行政サービスは。</p> <p>(3)本市独自の新たなマイナンバーカードの利活用についての考えは。</p> <p>(4)「交付円滑化計画」の策定を国から求められているが、普及率向上に向けて今後の取り組みは。(申請サポートや出張申請受付、周知広報等)</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 健康寿命の延伸について</p>	<p>日本では、急速に高齢化が進んでおり、総人口に占める65歳以上の高齢者の割合が世界1位となっている。一方、健康寿命との乖離が指摘されており、平均寿命が男性81.25歳、女性87.32歳であるのに対し、健康寿命は約10年短いのが現状である。</p> <p>(1)本市において65～74歳と、75歳以上で要支援・要介護と認定された人の割合は。</p> <p>(2)厚生労働省は加齢に伴い筋力や心身の活力が衰え、介護が必要になる一歩手前の「フレイル(虚弱)」の人を把握するため、来年度より75歳以上の後期高齢者を対象にした、新たな健診を導入するが、その概要は。</p> <p>(3)健診後の取組みが重要と考えるが、健診結果の活用方法は。</p> <p>(4)未受診者への対応として、かかりつけ医や地域の通いの場等でフレイル健診を実施する考えは。</p> <p>(5)フレイル対策や重症化予防等の取組みを進めていく上で、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施が必要となる。今後の課題と方向性は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 新たな住宅セーフティネット制度に係る取組みについて</p>	<p>高齢者や子育て世帯、低所得者などの住宅確保に配慮が必要な方(住宅確保要配慮者)が今後も増加する見込みであるが、住宅セーフティネットの根幹である公営住宅については、大幅な増加が見込めない状況にある。一方で、民間の空き家・空き室は増加傾向にあることから、それらを活用した新たな住宅セーフティネット制度が平成29年10月からスタートした。</p> <p>(1)住宅確保要配慮者の現状は。</p> <p>(2)居住支援ニーズを把握しているのか。</p> <p>(3)市独自の居住支援協議会設置に至っていない理由と今後の方向性は。</p> <p>(4)住宅確保要配慮者の入居を拒まない物件の登録が進まない要因と、考えられる増加策は。</p> <p>(5)住宅確保要配慮者の居住の安定確保に向け、制度の趣旨に沿った取組みを本市としてどのように進めていくのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 孤立を防ぐ断らない相談支援について</p>	<p>介護や病気、ひきこもりなど多様で複雑化した課題を抱え、既存の制度では対応が難しい人や、家庭の支援ニーズが増加している。厚生労働省によると、支援を必要とする人のうち60%は問題を2つ以上、34%は3つ以上抱えているという統計結果が出ている。</p> <p>(1)複合的な悩みを抱えた方への相談支援の現状は。</p> <p>(2)相談者の困りごとなどを記載して、他の担当課と情報共有するための「つなぐシート」の活用や一元化した窓口の設置について、本</p>	<p>市長 所管部長</p>

			市の考えは。	
6	大塚 建彦 12月11日(水) 14:45~ ※一問一答	1 健康福祉部の機構改革について	健康福祉部においては、高齢者や障がい者、生活保護申請者など、相談が多岐にわたるため、B Come +のようなワンストップサービスや専門職の育成、庁内横断型の連携システムが必要と考える。現在の組織体制がより機能するため、健康福祉部に新たに「(仮称)総合福祉企画課」を新設し、市民サービスの向上を促進してはどうかと考える。 (1) 健康福祉部職員の平均在任期間は。 (2) 障がいのある家族や認知症を患う家族を抱える世帯や生活保護世帯の相談は、非常に繊細であり、機械的な対応により、本質的な相談ができない事例があると聞かすが、このような事例に対する理想的な対応は。 (3) 福祉窓口における総合相談所の新設ではなく、専門家の立場で制度を理解し、行政間や市民の情報を収集し、相談の内容を理解し、相談者に寄り添いながら、関係各課との連絡調整を行える部門が必要であるとするが所見は。	市長 所管部長
		2 健康寿命延伸に向けた取組みについて	国は健康寿命を延ばす取組みとして、健康格差解消により、2040年までに健康寿命を3年以上延伸し、平均寿命との差の縮小を目指すとしている。重点取組みとして、介護予防と保健事業の一体的実施を挙げており、具体的には地域の「通いの場」の活用が考えられている。亀岡市内にある約90カ所の「居場所」について問う。 (1) 介護予防と保健事業の一体的実施とは。 (2) 「通いの場」と「居場所」は同義語なのか。 (3) 「通いの場」を活用した健康寿命を延ばす具体的な取組みとは。 (4) 今後の本事業における亀岡市の取組みは。	市長 所管部長
		3 保険者機能強化推進交付金の取組みについて	国は平成29年の介護保険法の改正により保険者機能強化推進交付金制度を創設し、平成30年度から自治体への交付を開始した。令和2年度は令和元年の200億円から予算を倍増し、400億円の交付を決定している。交付の条件として、都道府県・市町村において、認知症予防や要介護度の維持・改善に向けた取組みを、積極的に行った実績を数値化して評価し、決定するものとしている。 (1) 保険者機能強化推進交付金(介護保険における自治体への財政的インセンティブ)とは。 (2) 平成30年度に亀岡市が受けた当該交付金の総額と取組み内容は。 (3) 取組み内容として、「リハビリ職等と連携して効果的な介護予防を実施」とあるが、具体的な内容は。	市長 所管部長

		<p>3 千代川小学校の教育環境整備について</p> <p>4 亀岡駅北のにぎわいづくりについて</p> <p>5 千代川町の活気のあるにぎわいづくりについて</p>	<p>(4)ひとり親家庭に対する養育費の補助を検討するにあたり、明石市の「養育費立替パイロット事業」についての本市の見解は。</p> <p>千代川小学校の教室が不足しているために、子どもたちや教員の学校活動に影響が出ている。それらを解消するため、校舎の増築計画について問う。</p> <p>(1) 現在の計画進捗状況は。 (2) 校舎の安全性の向上は。 (3) 具体的な工事の実施時期は。 (4) 想定される工事の実施期間は。</p> <p>市長選挙時の個人演説会での亀岡駅北のにぎわいづくりについて問う。</p> <p>(1)「京都スタジアム横に、フットサル場やオリンピック競技種目にもなるスポーツなどを楽しむことができる場所の整備を検討している」と言われていたが、具体的な計画はあるのか。</p> <p>千代川町の活気のあるにぎわいづくりについて問う。</p> <p>(1)京都府が千代川町に計画している乗船場の進捗状況は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長</p> <p>市長 所管部長</p>
8	<p>三上 泉 12月12日(木) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>市民の「しあわせ度」は他市に比べるとさほど上がっていないという市民の声も多いが、こういった市民の願いに応えるため、市長は次の4年間をどのように取組まれるのか。</p> <p>(1)「京都スタジアムを中心としたまちづくり」の課題をどう整理するのかについて問う。</p> <p>①京都スタジアムを含む駅北地域の安全性について、想定を超える災害が頻発している昨今、見直しの必要があると考えるが市長の所見は。</p> <p>②騒音、プラごみをはじめとするごみ処理、交通渋滞など、市民生活への影響とその対策がまだまだ不十分ではないのか。</p> <p>③上記①及び②の具体的な手だては。</p> <p>(2)亀岡市は全員制の中学校給食を最終ゴールとしているが、この4年間で何らかのアクションはあるのか。</p> <p>①デリバリー弁当方式を導入していた府内の自治体(宇治市、京田辺市、精華町など)が、全員制の中学校給食に方向転換していることへの所見は。</p> <p>②市民団体との懇談で、市長は「施策(の選択)の問題」と言い切ったそうだが、法の趣旨と全国の動向に基づくならば、極めて基本政治理念として位置づけなければならないのではないのか。</p> <p>③同懇談で、議会が可決した意見書についても</p>	<p>市長</p>

		<p>2 市立図書館の利用について</p> <p>3 教職員の働き方改革と労働安全衛生施策の充実について</p>	<p>「議会はそういうふうにする(表現する)もの」という主旨で発言されたそうだが、その真意と議会の意見書に対する受止めについて問う。</p> <p>市立図書館への市民ニーズは高まっており、さまざまな要望が寄せられている。</p> <p>(1)市民に安定したサービスを提供するためにも、専門的な資格を有する人員の確保が必要と考えるがどうか。</p> <p>(2)学校への図書貸し出し、学校司書の派遣など、学校教育にかなりの力を注ぐことが、図書館本来の業務に与える影響を鑑み、学校司書については別予算で入れるべきではないのか。</p> <p>(3)府内各市町村の学校図書データ管理の現状は。</p> <p>本市教職員の時間外勤務縮減について、さらなる努力が求められている中、国が打ち出した教職員の変形労働時間制は、見かけの時間外勤務を減らすのみで、さらなる健康破壊と職場の分断を招きかねないものとして全国で猛反発が起こっている。</p> <p>(1)「基本的に時間外勤務を命じることができない」という大原則が反故になっている実態への所見と縮減に向けた決意は。</p> <p>(2)変形労働時間制には、反対すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3)義務教育の設置者である亀岡市から、国や京都府に対して、大幅な定数増や授業持ち時間数減などを、今まで以上に声を大にして要望すべきではないのか。</p> <p>(4)さらなる業務内容精選・削減のために以下の点について提案する。</p> <p>①教育研究所の研修内容の精選と削減を行い、教育研究所に出向いて行う座学研修を減らし、指導案提出や事前研を伴わない現場訪問による実態把握と的確なアドバイス・相談活動に変えてはどうか。</p> <p>②学校の諸会計の公会計化による、現金の取り扱い業務を縮減すべきではないのか。</p> <p>③部活動の社会教育への移行を全国に先駆けて段階的に行うことを基本に、当面は外部指導者等の充実と、練習日・練習試合の縮小を行い、公式試合の規模縮小などのルールの厳格化を関係機関・団体に求めるべきでは。</p> <p>④例えば、規模を縮小した運動会を1学期に行い、音楽祭を2学期に行うなど、体育的活動や文化的活動に係る学校行事の簡素化とスケジュール調整を行ってはどうか。</p> <p>⑤教育活動への外部からの「持ち込み」を制限すべきではないのか。(〇〇ポスター、〇〇</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
--	--	--	--	---

			標語の募集、〇〇についての特別授業など)	
9	浅田 晴彦 12月12日(木) 11:30~ ※一問一答	1 防災、減災 について 2 川東地域の 課題について 3 教育行政に ついて	本市における大規模災害への対応について問う。 (1) 大規模災害(東南海・南海地震等)発生時において、本市では避難所への避難者数や被害想定について、どのくらい把握できているのか。 (2) バリアフリー化ができていない避難所について、今後対応していく計画はあるのか。 川東地域の課題への対応について問う。 (1) 土づくりセンターの臭気問題に関し、バイオリキッドの実験はどのような結果が出ているのか。 (2) 川東地域内の通学路を含む市道に、道路標識を設置できないのか。 (3) 国道477号における通学路への街路灯設置の進捗状況は。 教育行政の課題への対応について問う。 (1) 警報発令時において、子どもたちが下校する際の安全は確保できているのか。 (2) 小・中学校教育に、防災の基本知識等を学ぶ時間を取り入れてはどうか。	市長 所管部長 市長 所管部長 教育長 所管部長
10	竹田 幸生 12月12日(木) 13:15~ ※一問一答	1 かめおか・未来・チャレンジビジョンⅡ 「いくつになっても笑顔で健康に暮らせるまちに」について 2 亀岡市における北の玄関口と表される地域の府道・市道整備について	桂川市政2期目に際し、かめおか・未来・チャレンジビジョンⅡを策定され、市政全般に渡る多くの項目を掲げられている。「いくつになっても笑顔で健康に暮らせるまちに」から2つの項目、JR千代川駅東西自由通路の設置、フレイル対策の促進について確認する。 (1) JR千代川駅東西自由通路の設置について問う。 ① JR千代川駅バリアフリー工事の進捗状況は。 ② チャレンジビジョンⅡ、本会議等で設置の方向性は示されているが、具体的な計画策定は。 (2) フレイル対策の促進について問う。 ① フレイルとはどのような状態か。 ② 現状のフレイル対策はどのようなものか。 ③ フレイル対策促進の具体策は。 府道宮前千歳線、亀岡園部線等の整備が進められており、交差する市道の整備も進んでいる。北の玄関口と表される府道、市道の整備状況や課題を確認する。 (1) 府道宮前千歳線鳴滝工区の進捗状況は。 (2) 府道宮前千歳線国道9号千原交差点改良工事の進捗状況は。 (3) 府道宮前千歳線今津踏切及び市道千代川駅今津線の安全性向上の進捗状況は。	市長 所管部長 所管部長

		<p>3 千代川小学校校舎増築等について</p> <p>4 義務教育学校亀岡川東学園について</p>	<p>(4) 市道池尻宇津根線整備の進捗状況は。</p> <p>(5) 府道亀岡園部線三日市交差点の進捗状況は。</p> <p>(6) 府道郷ノ口余部線と市道観音俣下三日市線との交差部分の段差をどのように認識しているのか。</p> <p>千代川小学校は、児童数の増加が見込まれ、現在、増築に向けた実施設計がなされている。</p> <p>(1) 工事に向けた代替教室はどのようになるのか。</p> <p>(2) 増築工事に合わせて、放課後児童会のスペース確保も同時に計画してはどうか。</p> <p>川東小学校・高田中学校を、校舎新築と合わせて義務教育学校亀岡川東学園としてスタートし、3年が経過しようとしている。</p> <p>設置経過や成果を再確認する。</p> <p>(1) 義務教育学校設置の目的は何か。</p> <p>(2) 成果は。</p> <p>(3) デメリットはなかったのか。</p> <p>(4) 亀岡川東学園の今後のあり方は。</p>	<p>教育長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>
11	<p>並河 愛子 12月12日(木) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 高齢になっても安心して暮らせる福祉の増進について</p>	<p>10月から消費税が10%になり、暮らしを圧迫している。特に年金で生活している高齢者にとっては暮らし応援の市政が求められる。</p> <p>(1) 上下水道の基本料金の一部を助成する「亀岡市安心長寿の福祉助成金」について問う。</p> <p>①格差と貧困が広がる中、安心長寿の福祉助成金は該当者にとって大変喜ばれているが、3年間の実績は。</p> <p>②今年度で事業終了すると言われているが、継続すべきではないか。</p> <p>(2) 補聴器購入補助について問う。</p> <p>①高齢性難聴者にとって補聴器の使用は、高齢者の就労、社会参加にとって必須である。厚生労働省・新オレンジプラン・認知症施策総合戦略の「発症予防の推進」の項で加齢、高血圧、糖尿病、喫煙などとともに難聴が認知症の危険因子として挙げられているが所見は。</p> <p>②認知症予防の点からも補聴器は必要である。経済的に厳しい高齢者にとって補聴器購入の公費助成制度が必要であると考えますが所見は。</p> <p>(3) 緊急通報装置について問う。</p> <p>①これまで緊急通報装置は無料で利用できたが、現在有料となっている。アンケートをされたと聞くが利用者の増減はどうか。</p> <p>②高齢の単身世帯でいざという時の安心として使用されている方は、わずかの年金で月々千円の負担は重いと話されている。利用しなければ1人暮らしでは不安もあり緊急通報</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 国民健康保険事業について</p> <p>3 市民の文化・サークル活動の場の確保と芸術鑑賞のできるホールの実現について</p> <p>4 総合福祉センターの駐車場利用について</p>	<p>装置は欠かせない。利用者に対して無料に戻すべきと思うがどうか。</p> <p>高すぎる国民健康保険料について負担軽減を求める世帯は多い。厚生労働省は国保料負担を全面的に抑える公費繰入金は「赤字」だとして「削減・解消」を迫る一方、自治体が条例を通じて行う、被災者、子ども、生活困窮者などの国保料の独自減免に充てる公費繰入金は「赤字」に分類せず、2020年度以後もペナルティーの対象外としていく方針とされている。子どもの国保料の均等割りについて問う。</p> <p>(1) 中学校卒業までの対象人数は何人か。</p> <p>(2) 自治体によっては5割軽減や第2子以降を最大5割減額されているなど、子育て支援をされている。本市で実施になれば財政負担はどうか。</p> <p>亀岡会館や厚生会館がなくなりサークル活動等を行う会場がなく苦勞されている。新たな総合文化施設を建設してほしいと多くの市民が待ち望んでいる。</p> <p>(1) 活動場所が少なくなり、月4回の活動日を3日に切り詰めて他の団体に譲っているなどの現状が解消されていないことへの所見は。</p> <p>(2) 音響や照明、楽屋や機材搬入ルートがしっかりとした舞台鑑賞のできるホールの建設の見通しは。</p> <p>(3) 各地域の実情や要求に応じた文化活動の場、住民交流の確保を空き家活用などの工夫を含め進めてはどうか。</p> <p>サークル活動などで会場を利用する場合、駐車場は欠かせない。福祉センターでサークル活動される方は駐車料金の無料拡大の要望が強い。</p> <p>(1) 第2駐車場の入口・出口が同じ場所であり、狭い道路に面している上、交差点にも近く危険な面もある。障がい者駐車スペースもあるが、車いすが通るスペースがない。これらへの配慮や改善の必要があるのではないか。</p> <p>(2) 公共施設では市立病院を除いて唯一有料となっているが、総合福祉センター利用者については、各団体で取りまとめをして無料にする手続きをするなど、完全無料となるようにすべきではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
12	<p>奥野 正三 12月12日(木) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>2 期目のかめおか・未来・チャレンジビジョンⅡの具体的な施策について問う。</p> <p>(1) 子どもを安心して産み育てることができる環境とは。</p> <p>(2) 地域医療との連携による安心な暮らしとは。</p>	<p>市長</p>

		<p>2 通学路の安全対策について</p> <p>3 亀岡運動公園競技場の整備について</p> <p>4 市立認定こども園について</p> <p>5 ふるさとバス運動公園ターミナルの施設について</p>	<p>(3) 亀岡まるごとスタジアム構想とは。 (4) 生活環境の安全安心とは。</p> <p>昨年大阪北部地震で、登校中の児童が倒れてきたブロック塀の下敷きになり死亡した。予知できない災害における本市の通学路の安全について問う。 (1) この災害後、通学路の安全確認を行ったか。 (2) 危険と思われる通学路はあったか。 (3) 畑野小学校からふるさとバスの高橋バス停までの通学路は危険と考えるがどうか。</p> <p>小・中学校陸上競技大会や記録会、また少年サッカー等、多くの市民が利用している施設の管理について問う。 (1) スタンドの手すり等の安全確認は行っているのか。 (2) メインスタンド前とトラック間の整備が必要と考えるがどうか。 (3) フィールド内の芝生が荒れているが、再生と管理は。</p> <p>本梅保育所と東本梅保育所が、本梅こども園、森の自然こども園東本梅となることについて問う。 (1) 両保育所がこども園になることの利点は。 (2) 移行に係る費用は。 (3) 移行後の職員数は。</p> <p>ふるさとバスと京阪京都交通が相互乗り入れしている運動公園ターミナルについて問う。 (1) この施設はどこ管理となっているのか。 (2) 夕刻、待合室とその周辺が暗いが、防犯面からももう少し明るくしてはどうか。 (3) 自転車利用者のための駐輪場が必要と考えるがどうか。</p>	<p>教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
13	<p>赤坂マリア 12月12日(木) 15:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 子育て支援について</p>	<p>人口が減少する中で、移住・定住につなげていくためには、さらに楽しいまちづくりを進めるとともに、子どもができて子育てしやすいまちにしていく必要がある。特に、子どもが生まれてから小学校に入るまでの期間が大事であり、亀岡市としてもしっかりと子育てをサポートする必要があると考える。 (1) 小学校に入学するまでの子どもがいる子育て家庭に対して、どのようなサービスを行っているのか。また、子育て支援の拠点である子育て世代包括支援センターBComeは、どのようなサービスを行っているのか。 (2) BComeのホームページには「窓口がひとつのワンストップ制で、一人ひとりに合った支援を提供します」とあるが、そもそもワンストップとは何か。様々な家庭がある中</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 湯の花温泉について</p>	<p>で、対応は十分と言えるのか。</p> <p>(3) 対応できる担当者の数が少ないと聞いているが、職員体制はどうなっているのか。</p> <p>(4) 子育て中の保護者からは、「BCome、BCome+、保健センターなど、呼び名がいくつもあり非常にわかりづらい」「どこに相談すればいいかわからない」「誰に相談すればいいかわからない」「場所がわかりにくく暗い」「子連れなのに庁舎とBComeを往復しなければならず大変である」という声が多くあった。また、関係者からも、「BComeと保健センターの明確な違いがわからない」「亀岡市に聞いたが、あいまいな返事でいまいちわからない」という話があったのだが、これについて所見は。</p> <p>9月議会で湯の花温泉について質問し、その後、地域住民からもいろいろな声が上がっている。以下の点について質問する。</p> <p>(1) 9月議会で質問した内容について、その後の改善や今後の予定は。</p> <p>(2) 入湯税は、観光振興や観光施設等の整備が目的だが、現状では約4分の3の金額が観光協会に入っている。入湯税の流れやチェック機能はどうなっているのか。</p> <p>(3) 何を優先してお金を使うのか、優先順位を考えるべきではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
14	<p>長澤 満 12月12日(木) 16:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 プラスチックごみ削減対策について</p>	<p>本市は、「亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例(仮称)素案」を発表し、条例の制定に向けて準備を進めている。一方、本市議会等もポイ捨て等禁止に関する条例の検討を進めている。概ね素案の発表以降の、その条例の準備の進捗状況と課題について問う。</p> <p>(1) 商店街等に加入する商店、それ以外の商店、コンビニとの間での協定や条例に関する協議の進捗状況は。</p> <p>(2) 上記の商店やコンビニとの協議を通じて、条例の制定に向けてどのような課題を認識し、その対応をどのように考えているのか。</p> <p>(3) 市民向け説明会の開催状況、そこでの本市の説明に対する市民の意見は、集約して概ねどのような内容であるのか。</p> <p>(4) 上記の市民の意見を受けて、条例の制定に向けてどのような課題を認識し、その対応をどのように考えているのか。</p> <p>(5) 素案のような条例を実施した場合、商店やコンビニにおいて、なじみ客や一時的な入込客との間で混乱が予想されるのではないのか。</p> <p>(6) プラスチック製レジ袋の代替品の開発使用は、事業者が主体になるであろうが、コスト面を含めどのような課題を認識しているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 新火葬場整備計画について</p>	<p>か。</p> <p>(7) 近隣市町との協力、国の施策に対する要望という側面において、どのような課題を認識し、どのような対応を実施、予定しているのか。</p> <p>(8) 以上のような課題に鑑み、市民や事業者との協議を通じ、罰則付き禁止をしないなどの慎重な方法を検討すべきではないのか。</p> <p>本市は、本年8月に「新火葬場整備基本計画」を策定し、その後に住民向け説明会の開催、予定地の地質調査などの作業を実施し、あるいは計画している。それらの作業の進行状況と課題について問う。</p> <p>(1) 本年度の本市予算に計上されている本計画の予定地の現地測量や地質調査の進行状況、今後の予定と課題は、どうであるのか。</p> <p>(2) 住民向け説明会の開催状況、そこでの本市の説明に対する住民の意見は、集約して概ねどのような内容であるのか。</p> <p>(3) 上記の住民の意見を受けて、本計画の今後の取り扱いについて、どのような課題を認識し、その対応をどのように考えているのか。</p> <p>(4) 本計画の予定地の地元の自治会、予定地に隣接・近接する土地や施設の所有者や管理者に対する対応の状況や予定は、どうであるのか。</p> <p>(5) 検討審議会の答申は「場所選定に係る地元住民の合意形成等の課題を踏まえた最終決定は、亀岡市にお願いしたい。」としている。この趣旨からみて、現在は、本市が最終決定をしていく過程にあるのか、それとも最終決定はなされた段階にあるのか。</p> <p>(6) 本計画の予定地の地質調査の結果や住民等に対する説明・協議の結果によっては、本基本計画を見直すこともあり得るのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 旧京都地方法務局亀岡出張所の建物の活用について</p>	<p>旧京都地方法務局亀岡出張所の建物は、京都財務事務所の管轄の下に、本市が取得等の要望をし、その方向で審査中である（同事務所ホームページ参照）。当該建物の活用について問う。</p> <p>(1) 当該建物の規模と形状、本市が予定する取得等の時期と方式、費用の見込みは、どうであるのか。</p> <p>(2) 当該建物の用途について、これまでの市民の要望を勘案して、市民活動等の集会施設の拡充、相談窓口でのプライバシーに配慮した面談場所の確保、各種相談に対応するワンストップ型態勢の整備などに役立つように、既存の本市建物との配置替えの検討を含め、活用方法を検討すべきではないのか。</p>	<p>市長 所管市長</p>
		<p>4 農業用機械</p>	<p>本市の農業、特に小規模な家族農業を支援する</p>	<p>市長</p>

		の購入に係る補助制度について	<p>ための農業用機械の購入に係る補助制度（災害復旧に係る補助制度以外の補助制度）について問う。</p> <p>（１）農業用機械の購入に係る国、京都府の補助制度、また参考に近隣の市町の補助制度は、どのようなものがあるのか。</p> <p>（２）国や京都府の補助制度と並行して、あるいはそれらを補完して、本市独自の補助制度の創設を検討すべきではないのか。</p>	所管市長
15	小川 克己 12月13日(金) 10:00~ ※一問一答	<p>1 環境先進都市について</p> <p>2 千代川町の治水対策について</p> <p>3 小川交差点の改良について</p> <p>4 市道の管理について</p>	<p>亀岡市は、環境先進都市を目指して取組んでおり、今国内で注目を浴びている。亀岡市ゼロエミッション計画（ごみ処理基本計画）を策定し、資源循環型社会、ごみを出さない地域社会を目指しているが、関連項目について問う。</p> <p>（１）ごみのポイ捨ての現状を市としてどう捉えているのか。</p> <p>（２）ごみステーションが設置できる単位は。</p> <p>（３）高齢化が進む中、ごみステーションの設置について工夫はできないか。</p> <p>（４）燃やすごみ、資源ごみ、埋立てごみの分別を含めた現状について、</p> <p>①埋立てごみ分別に向けての取組みは。</p> <p>②今後新たな分別の予定は。</p> <p>③燃やすごみ減量に向けて生ごみ処理機（コンポスト）普及の取組み状況は。</p> <p>千代川町内を流れる千々川改修については、南丹土木事務所において鋭意進めていただいている。昨年の豪雨では、国道9号千々川橋袂が浸食され、上流右岸において越水し市道高野林1号線まで水が溢れた。今後も気候変動により予想を超える量の雨が降り、同様以上のことが起こり得るかもしれない。</p> <p>（１）今後の千々川改修予定と、千々川橋架けかえについて府市の連携と国への要望は。</p> <p>（２）旧千々川の廃川整備と、暫定改修の大泥ゲートの整備の考え方は。</p> <p>歩行者専用信号機が設置されている小川交差点は、設置当時の課題もあり現状に至っている。東西の市道からの進入が危険と思われる時がある。</p> <p>（１）現状をどう認識しているのか。</p> <p>（２）今後、改良に向けて、市道の拡幅と、京都国道事務所との歩道拡幅についての協議を望むが所見は。</p> <p>市道の管理については、広い市域を道路パトロールを行っていただいている。今後、観光目的でマイカーで来られる方も多くなると思う。安全管理について問う。</p> <p>（１）所管部職員は、市道の名称を認識できてい</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>5 災害時の情報通信体制について</p> <p>6 庁舎出入口について</p> <p>7 先人顕彰について</p>	<p>るか。また、市道の名称を公開する考えは。 (2) 各職員が、通勤時や外出時に、市道の陥没や道路標識が木々で見えないなどの不具合を見つけた場合、通報する体制の構築はできているのか。</p> <p>今年も全国的に記録的な大雨に見舞われた。今後も気候変動による豪雨や、地震災害も危惧される中、情報通信体制について問う。 (1) 移動系防災無線について、昨年の災害時及び今年の市総合防災訓練で活用できたのか。 (2) 同報系防災無線整備の進捗状況は。 (3) 市民への防災・災害情報伝達手段についての取組み状況は。</p> <p>市役所西側に軽自動車専用の駐車場があり、多くの方が利用されている。庁舎西側出入口は、手動扉となっており、思いやり駐車場に駐車して車イスで庁舎に入る場合、正面玄関まで行かないと入れない。特に雨の日などは不便であると考える。 (1) 庁舎西側出入口を、片側だけでも自動扉に改良できないのか。 (2) 京都府思いやり駐車場をわかりやすく表示するとともに、歩行困難者のための駐車スペースから庁舎内への動線を整備できないのか。</p> <p>来年は、いよいよ明智光秀公を主人公としたNHK大河ドラマが放映され、大河ドラマ館がオープンする。また、亀岡には様々な功績を残された先人達がいる。来年こそ、亀岡の先人達を広く知らせる良い機会だと思う。 (1) 先人を顕彰して「亀岡の先人達」と題して記念切手シートの発行に取組んではどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
16	<p>木曾 利廣 12月13日(金) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 京都スタジアムについて</p> <p>2 環境行政について</p>	<p>市民の期待が高まっている京都スタジアムの竣工が近づいている。交通シミュレーションを踏まえた対策と、主催者等関係者の駐車場確保について問う。 (1) 京都府と亀岡市が行った交通量調査の結果を踏まえて、本市としてどのように分析し対応策を講じるのか。 (2) 今までの質問において、関係者の駐車場だけでも700台ぐらいは必要だと言ってきたが、明確な答弁がなかった。現時点ではどのようなになっているのか。 (3) 生活道路への車両の進入を、できる限り防止する対策は。</p> <p>平成30年12月13日に、本市と市議会が共同で宣言した「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を通じて、世界に誇れる環境先進都市実現の</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>ための取組みについて問う。</p> <p>(1) プラスチック製レジ袋の提供禁止条例を来年の3月議会に提案し、8月の施行を目指しているが、亀岡市内の商業等の関係事業者の理解や説明の現状はどうなっているのか。</p> <p>(2) 条例制定に向けて市民説明をされているが、市民の理解は進んでいるのか。</p> <p>(3) 条例違反者に対する罰則で、違反者の公表や立入調査については考えているのか。</p> <p>(4) 罰則の判断については、第三者機関が必要だと考えていると思うが、具体的にどのような内容か。</p> <p>(5) 桂川市長が環境省の中央環境審議会専門委員に任命されたが、併せて指名された循環型社会部会所属専門委員、家電リサイクル制度評価検討小委員会、小型電気電子機器リサイクル制度及び使用済製品中の有用金属の再生利用に関する小委員会所属専門委員の内容と本市の施策への取組みは。</p>		
		<p>3 新火葬場整備について</p> <p>平成30年に新火葬場整備基本構想がまとまり、亀岡市新火葬場整備基本計画を推進しているところであるが、今後の計画について問う。</p> <p>(1) 新火葬場はPFI事業を選択し、プロポーザル方式により実施されると聞いているが現状は。</p> <p>(2) 地元亀岡地区西部自治会（安町・余部町）での説明会の現状は。</p>	市長 所管部長	
		<p>4 教育行政について</p> <p>令和2年4月から実施される亀岡市学校規模適正化基本方針に関し、各学校（詳徳小学校、つつじヶ丘小学校、南つつじヶ丘小学校）の対応について問う。</p> <p>(1) 受け入れ状況は。</p> <p>(2) 通学路の安全対策の状況と、通学区域を変更する地域の地元自治会への説明及び保護者の理解の状況は。</p> <p>(3) 4月の実施までに整備する内容と、中長期に対応する整備内容（用地確保・各機関との調整）は、現在どの程度進捗しているのか。</p>	市長 教育長	
17	西口 純生 12月13日(金) 11:30~ ※一問一答	1 防災・減災と危機管理について	<p>想定外の災害は、想定内として対応しなければならない。常に気候変動による想定外の大災害が起こるという認識での危機管理について問う。</p> <p>(1) 近年、災害の表現で想定外という言葉がよく使われている。東日本で起こっている大水害の状況は、我々にとっては想定内のものにしておかなければならない。地域性があつたとしても、災害は想定内として常に共有すべきである。亀岡市としては、想定外の災害として何を想定しているのか。</p> <p>(2) 我々の地元では、愛宕谷林道の上にある谷山池の決壊を常に警戒している。ため池の監</p>	市長 所管部長

		<p>2 国の天然記念物の保全について</p>	<p>視については、電気もなく危険であり、現場を確認できないことが一番の問題である。何とか異常を知ることができる監視機能を講じることができないものか。</p> <p>(3) 保津町は、平和池の決壊を教訓に、現場に行かずとも危険水位と雨量計を確認するための調査を始めている。今後、計画図が出てくれば、亀岡市も監視機能について検討していく意思はあるのか。</p> <p>守り続けてきたアユモドキの保全の状況と今後のあり方について、国の考え方も併せて見解を求め。</p> <p>(1) 昨年も集中豪雨があり、仔魚の確認と生育が懸念されていたが、昨年度と今年度の個体数の状況は。</p> <p>(2) 3カ所ある実証実験池の仔魚の確認はどうか。</p> <p>(3) 攻めの保全について、手を加えて人工的に産卵させたが、その後の増殖の結果は。</p> <p>(4) 今後、環境省は増殖を推進していく方向性なのか。また、自然状態で保全・増殖できると考えているのか。亀岡市の見解は。</p> <p>(5) 産卵後に仔魚が増水で流されないよう、避難も含めて管理を強化し、成長するまで見届けることが重要であると考えらるがどうか。</p> <p>(6) 亀岡で捕獲した個体を姫路市立水族館で産卵・孵化させ、約2千匹が確認できた。これを分散させて仔魚を保全してきたが、これらの状況と増減はどうか。</p> <p>(7) 環境省は、保津川で産まれた個体を保津川に戻すことを禁じてきた。我々は、これについて疑問を呈し、意見を申し入れてきたが、環境省の考えは。</p> <p>(8) 京都スタジアムの竣工式が来年1月に行われる。環境保全専門家会議に係る経費について、今年度までにかかった費用の総額はいくらか。</p> <p>(9) 工事は完成し、環境保全専門家会議の役目は終わるが、予算の確保を含め、今後どうしていくのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 桂川整備促進について</p>	<p>桂川整備と支川改修整備の促進について、今年度及び次年度以降の京都府の事業計画を確認する。</p> <p>(1) 霞堤の1メートルの嵩上げは、桂川に面した部分の嵩上げと聞いているが、合流する4つの支川の堤防は嵩上げをしなくても効果があるのか。また、合流点付近の支川堤防の嵩上げは、京都府と亀岡市のどちらが行うのか。</p> <p>(2) 保津橋下流の嵩上げは発表されたが、住宅地を優先することは当然であり、京都府に要</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>4 教育行政について</p> <p>5 京都スタジアム関連事業について</p>	<p>請すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 先般の東京での水害の要因の1つとして、樋門の開放が報道で取り沙汰されていたと記憶しているが、それは事実なのか。また、霞堤の嵩上げの際に樋門を2カ所設置すると聞いているが、樋門の管理はどこが行うのか。</p> <p>(4) 保津橋下流の嵩上げに続き、上流域の嵩上げを実施するに当たり、曾我谷川合流点と犬飼川合流点は道路との調整があるが、道路決定の準備は万全なのか。</p> <p>通学路の安全確保と小規模特認校の通学しやすい教育環境について問う。</p> <p>(1) 亀岡駅北校区について、亀岡中学校校区の意見交換の中で、亀岡地区の自治会や学校関係者は、のどかめロードを通学路とすることが危険であるという強い懸念を持っている。それほど危険なのであれば、安全に通学できるよう見直すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 東・西別院小学校の教育行政について、特色ある教育に新しく付加できるものがあるのか。また、通学しやすい環境整備についてはどうなのか。</p> <p>(3) 今後、ITに強い学校、文化芸能を目指す学校、スポーツ推進を目指す学校、大学と連携できる教育等、生きる力を育むための特色ある教育の推進についての考えは。</p> <p>(4) 保津小学校のインパクトのある英語に強い教育についてはどうか。説明会を含めた反応は。</p> <p>来年1月に竣工式を迎えるスタジアム関連事業について問う。</p> <p>(1) オープニングで著名な歌手がコンサートを行うという噂を聞いているが、その計画はあるのか。</p> <p>(2) 来年に亀岡市ラグビー祭が予定されている。使用料を安くし、使いやすくするための支援をお願いしたいと考えるが、亀岡市の見解は。</p>	<p>教育長 所管部長</p> <p>所管部長</p>
18	<p>三宅 一宏 12月13日(金) 13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 各駅における喫煙スペースについて</p>	<p>JR各駅及びトロッコ亀岡駅の喫煙スペースについて問う。</p> <p>(1) JR亀岡駅の喫煙ブースの概要は。(400万円の内訳及び完成時期)</p> <p>(2) 環境に配慮した観光を進める亀岡市として、各駅に環境に配慮した喫煙スペースを設置する必要があると考えるが、美化推進重点地域に指定されているJR亀岡駅周辺的环境対策は。</p> <p>(3) 亀岡市路上喫煙の規制に関する条例の制定後、路上喫煙禁止区域以外でのたばこのポイ</p>	<p>市長 所管部長</p>

<p>※一問一答</p>	<p>2 大河ドラマ館のオープンについて</p> <p>3 インバウンド等に対応した観光施策について</p>	<p>(1) 1期目の総括は。</p> <p>(2) 新たなチャレンジビジョンでは、「健康・環境・観光 多文化共生のまち亀岡 世界に誇れる環境先進都市の実現」のもと、8項目にわたって書かれているが、特筆すべき目玉事業とは。</p> <p>(3) 「安全安心で住み続けられるまちに」の中で、交通渋滞緩和のための基盤整備として、市道中矢田篠線の亀岡インターへの延伸について明記されているが、いつからどのように取組むのか。</p> <p>過日、霧島市で開催された「全国都市問題会議」に参加した。この時のテーマは、「防災とコミュニティ」であった。今、市議会では、議会改革の取組みとして「防災・減災」にどのように取組んでいけばよいのか議論しているところである。</p> <p>(4) 昨年豪雨や台風被害からの復旧状況はどうなっているのか。</p> <p>(5) 「自助・共助・公助」と言われる中の「共助」を行うためには個人情報などを正しく発信することが求められるが、独居や高齢者、障がいのある人たちに対する本市の取扱い。</p> <p>(6) 私は、常々「地域での井戸端会議を大事にしてください」と言っている。ご近所の付き合いの中でより良いコミュニティが形成され、いざというときに力を発揮する。そのためには、各自治会等への活動支援が大事だと思うがどうか。</p> <p>NHK大河ドラマ「麒麟がくる」を起爆剤に明智光秀公のまち亀岡をアピールする絶好の機会ととらえていたが、様々なトラブルによって出鼻をくじかれた感が否めない。</p> <p>(1) スタジアムでのぼや騒ぎの原因と竣工式への影響は。</p> <p>(2) ドラマ出演女優の交代とドラマ放映への影響は。</p> <p>(3) これらによる大河ドラマ館オープンへの影響と想定される被害内容は。</p> <p>(4) 大河ドラマを起爆剤とした今後の観光展開において、このようなことに振り回されずに積極的にチャレンジしてほしいと思う。どのように取組んでいく予定か。</p> <p>京都市が「観光公害」などという言い方で旅行者の排除とも受け取れる対応をしようとしている中、「もう一つの京都～光秀のまち 亀岡」の取組みが今後の京都の観光において大きな役割を果たすと考える。</p> <p>(1) 京都市内の観光と亀岡での観光の大きな違いはどこにあると思うか。</p> <p>(2) 情報発信の仕方を今後どのように工夫していくのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
--------------	--	--	---------------------------------------

		4 道路改良について	<p>(3) 旅行者への交通手段を季節に応じて確保してはどうか。</p> <p>(4) インバウンドの多い観光スポットを中心に多言語でそのいわれやその場所でのマナーなどを表示してはどうか。</p> <p>国道9号矢田口交差点付近は、国道の歩道が狭く危険である。また、接続する市道は、幅員が狭く、離合が困難な状況にある。小・中学校の通学路にもなっており改良が必要と考える。</p> <p>(1) 当該交差点付近の国道の歩道改良の予定は。</p> <p>(2) 通学路としての安全確保の観点から見ても国道の改良と合わせて市道改良も行うべきではないか。</p>	市長 教育長 所管部長
20	福井 英昭 12月13日(金) 15:00~ ※一問一答	1 新火葬場計画の現状と進め方について	<p>新火葬場計画は、20数年前に余部町丸山で都市計画決定した後、様々な紆余曲折を経て、改めてこの地で亀岡市新火葬場整備基本計画が策定された。現状と今後の進め方について問う。</p> <p>(1) 新火葬場計画について、20数年前からの経過と現状は。</p> <p>(2) 以上の経過を踏まえ、新火葬場を建設すべく立ち上げた亀岡市新火葬場整備検討審議会にて検討してきた内容と経過は。</p> <p>(3) 新火葬場整備検討審議会は、市長宛に新火葬場についての答申を行ったと理解しているが、この答申はどのようなものか。</p> <p>(4) 亀岡市は、この答申を受けて新火葬場整備基本計画を策定したと理解しているがどうか。</p> <p>(5) 新火葬場整備検討審議会が答申した内容は決定事項なのか。</p> <p>(6) 新火葬場整備基本計画は決定事項なのか。どのような位置づけのものなのか。</p> <p>(7) 11月19日及び23日に行われた「亀岡市新火葬場整備に関する説明会」は、どのような内容であったのか。</p> <p>(8) 審議会に参加された方々は、ある程度の決定事項をつくり上げたという認識がある。逆に地元住民は、相談もなく審議会のような知らないところで勝手に決まったという意識がある。果たして実態はどちらなのか。</p>	市長 所管部長
		2 JR亀岡駅南北のまちづくりについて	<p>1月に竣工式を迎える府立京都スタジアムをはじめとして、亀岡駅北のまちづくりが目に見えてきたところである。亀岡市では、駅北のまちづくりと同時に駅南についても亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想を策定するなど、駅南北を一体としたまちづくりを目指すという方向性を打ち出しており、このような観点から以下の点について問う。</p> <p>(1) 亀岡駅南北の動線について、南北をつなぐ</p>	市長 所管部長

		<p>3 ポイ捨て禁止条例制定の意義について</p>	<p>新たな通路（歩道でもよい）が必要ではないのか。</p> <p>(2) のどかめロードは、スタジアムへの通路としては狭小である。拡幅できる見込みは。</p> <p>(3) 現状では、のどかめロードの両側（駅舎の南北）の階段が線路に平行に設置されているだけであり、ロータリーを跨いでいない。自由通路ではあるが、構造上、駅の利用者のための造りになっていると言わざるを得ないと考えるがどうか。</p> <p>(4) ベデストリアンデッキについては、木製でつくるなど、まちの景観やエコタウン等の計画で推し進めれば、国の補助事業の対象にもなるのではないかと考えるがどうか。</p> <p>(5) 駅北に完成するスタジアムについて、京都府は「スポーツウェルネスを目指す」という言い方をしている。これを現実にするためにも、亀岡駅北側あるいは南側に医療系の大学を誘致してスポーツウェルネス地帯を実現してはどうかと考えるが、所見は。</p> <p>(6) 大学の誘致が難しい場合でも、駅周辺に温浴療養施設等のウェルネス機能を持つ施設を誘致してまちづくりを進める考えはないのか。</p> <p>市民生活の中で、大多数の善良な市民はレジ袋やプラごみを決められた方法で捨てている。ポイ捨てをする一部の者あるいは市外からの心ない者がポイ捨てをしていると思われ、これが保津峡の景観を損ねる大きな原因の1つとなっていると考える。当市は、プラごみゼロ宣言を行い、レジ袋を有料化し、レジ袋の禁止へと進もうとしている。これは世界に誇れることだが、そうであるからこそ余計にその対極にあるポイ捨てを許しているようではいけないのではないかと考える。</p> <p>(1) 現行の亀岡市環境美化条例を改正するのではなく、ポイ捨て禁止条例（罰則付き）を独立して制定し、ポイ捨てを撲滅する取組みを推し進めることが必要不可欠と考えるが、所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
21	<p>小松 康之 12月13日(金) 15:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 防災対策について</p>	<p>異常気象による災害被害が常態化し、被害規模も更新に次ぐ更新で天井知らずの勢いである。千葉の風雨被害は想定外の事もあり、様々な課題が見えてきた。さらに地震発生も頻発し、10月には亀岡付近を震源とするものも起こった。防災減災対策について問う。</p> <p>(1) 非常電源の確保について問う。</p> <p>①市庁舎の停電時における非常電源の機能や燃料備蓄量は十分なのか。</p> <p>②もし燃料が不足した場合はどうするのか。</p> <p>③避難所である学校ではバッテリーの充電を求めて多くの人々が殺到するが、非常電源は確</p>	<p>市長 教育長 病院事業管理者 所管部長</p>

			<p>保されているのか。</p> <p>④停電による南つつじヶ丘の水道水と消火栓の確保は。</p> <p>⑤市立病院の非常用蓄電池設備や自家発電設備において、立ち上がり時間と連続運転可能な最小時間、燃料備蓄量は十分か。</p> <p>(2)市立病院の大規模災害時の受け入れについて問う。</p> <p>①市立病院が受け入れ困難になった場合、災害拠点病院との連携は取れるのか。</p> <p>②地域の診療所等へ通院患者等の受け入れを要請する体制はできているのか。</p> <p>③災害時に医師が出勤できない場合の体制作りはできているのか。</p> <p>(3)学校の避難訓練について問う。</p> <p>①避難訓練の回数は。</p> <p>②どのような災害を想定した訓練か。</p> <p>③訓練実施の事前通告の有無は。</p> <p>④緊急地震速報の放送の有無は。</p> <p>⑤避難場所はどこか。</p> <p>⑥登下校時に地震が発生した場合、子どもたちはどうするのか。</p>	
	2 市道の安全対策について	<p>西つつじヶ丘のみならず、街路樹の根張りにより歩道が隆起し、歩行の安全を損なう事態が起きている。</p> <p>子どもや高齢者がつまずいて転倒することも実際に生じている。またシニアカーではその箇所を通過すると傾くため、安全装置が働き止まってしまうなど危険性は以前から指摘されている。従前から要望しているが、抜本的解決について問う。</p> <p>(1)現在、どのような処置を行っているのか。</p> <p>(2)対処的な処置ではなく完全除去は、技術的に難しいのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>	
	3 市庁舎の労働環境について	<p>今夏、姫路市では市庁舎内の室内温度を、環境省の室温目安28度から25度に下げる実証実験を行った。仕事の効率が上がり残業時間も減少したという結果を発表した。本市の所見を問う。</p> <p>(1)今夏の冷房時の室温設定は。</p> <p>(2)省エネと仕事の効率をどう捉えるか。</p> <p>(3)本市でも取組めないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>	
	4 子どもたちのSNS利用について	<p>子どもたちを取り囲む環境では、SNSの依存性や危険性が指摘されている。また学力面ではスマホ利用時間との関係性が研究されている。大阪小6女児誘拐事件に関連して、本市の小・中学生のインターネット、SNS利用実態について問う。</p> <p>(1)以前は学力テストの調査で小・中学生の利用状況が把握できたが、現段階でその実態を把握できているか。</p>	<p>教育長</p>	

		<p>5 市職員の受賞について</p>	<p>(2) 利用の仕方や危険性について、学校では子どもたちや保護者に啓発を行っているが、効果はあるのか。</p> <p>(3) 今後犯罪被害者の人数が増え、低年齢化も進むが、学校ではどの程度問題意識を抱えているのか。</p> <p>このほど、市職員の提案が近畿経済産業局長賞に選ばれた。その自発的、積極的な応募は評価すべきものと思われる。当コンテストについて問う。</p> <p>(1) どのようなコンテストなのか。</p> <p>(2) 受賞理由は何か。</p> <p>(3) 今後それを市政運営にどう生かせるのか。</p>	<p>仲山副市長</p>
--	--	---------------------	--	--------------